

Tour de Taiwan

Stage3 / 宝忠義民廟(新埔) – 石岡遊客中心 154.3km

小石祐馬が「アジア最優秀選手」ジャージを獲得！



開催日：3月18日

コース：宝忠義民廟(新埔) – 石岡遊客中心 (154.3km)

参加チーム：23チーム(プロチーム 6、コンチネンタルチーム 14、ナショナルチーム 3)

出走選手数：113人

JCL TEAM UKYOメンバー：小石祐馬、山本正喜、シモーネ・ラッカーニ、ニコロ・ガリッポ、アンドレア・ダマート

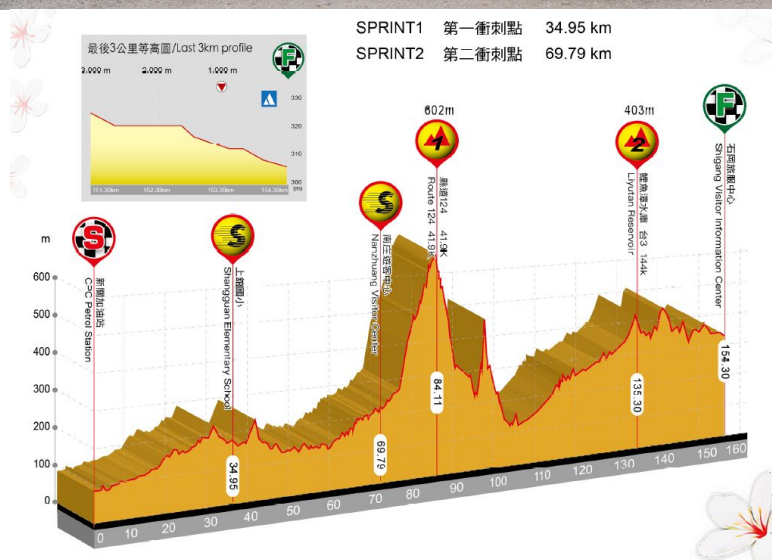
JCL TEAM UKYO監督：マヌエーレ・ボアロ

レース公式サイト：https://www.tourdetaiwan.org.tw/index_en.php

JCL TEAMUKYO公式サイト：<https://jcl-team-ukyo.jp/>

Live 配信：<https://x.gd/ZDA5P>

Photo：<https://x.gd/MqLSk>



第3ステージは、難しい展開が予想された 154.3kmのレース。新埔の宝忠義民廟からスタートし、石岡遊客中心までのコースには、カテゴリー 1級のKOM(山岳賞区間・11km・平均勾配4.5%)が設定されていました。さらに、長い下りと平坦区間の途中には 800m・勾配5.9%のKOMがあり、ゴールスプリントへとつながるレイアウトでした。

JCL TEAM UKYOは、最初の登りまでエネルギーを温存し、展開を見ながら勝負どころを狙う作戦で挑みました。

レースは12℃の肌寒い気温と曇り空のもとでスタート。序盤、台湾の Li Ting-Weiがアタックを仕掛けましたが、逃げを作ることはできませんでした。

長く続いたアタック合戦の中、中間スプリントで小石が 2着となり2秒を獲得。

アジアンリーダーの岡 (ブリッツェン)を逆転。

レースはそのままアタック合戦が続き高速で進行する中、いよいよ 84.1km地点のカテゴリー 1級KOMに突入。ここで、総勢19名の先頭集団が形成されました。その中には JCL TEAM UKYOのエースであるシモーネ・ラッカーニも含まれていました。このグループには、総合リーダーのモーリッツ・クレッチーと山岳賞リーダーのブレイディ・ギルモア (共にIsrael)も含まれており、強力なメンバーが揃いました。

この集団は、頂上で2分のリードを獲得し、その後の下りと平坦区間でもその差を維持。

JCL TEAM UKYOの小石祐馬を含むメンバーが追走しましたが、差を縮めることはできませんでした。最後のKOMを越えた時点で、先頭19名がステージ優勝を争うことが確定しました。

ゴール前200mでジャコモ・バラビオ (Hrinkow)が鋭いスプリントを仕掛け、見事優勝。ロレンツォ・クアルトゥッチ (Solution Tech)とディラン・ホプキンス (Roojai)が続きました。

JCL TEAM UKYOのシモーネ・ラッカーニは同タイムの 16位でフィニッシュしましたが、ボーナスタイムの影響で総合順位を7位(+15秒)に下げました。

小石祐馬は2分26秒遅れのメイン集団でゴールし、「アジア最優秀選手」ジャージを獲得！

翌第4ステージでは、このジャージを着用して走ることになります。



TOUR DE TAIWAN STAGE 3 RESULT:

1. Giacomo Ballabio (HRINKOW ADVARICS) – 3:29:12
2. Lorenzo Quartucci (SOLUTION TECH VINI FANTINI) – s.t.
3. Dylan Hopkins (ROOJAI INSURANCE) – s.t.
16. Simone Raccani (JCL Team Ukyo) s.t.

TOUR DE TAIWAN STAGE 3 GC:

1. Moritz Kretschy (ISRAEL - PREMIER TECH) - 8h02'16"
2. Brady Gilmore (ISRAEL-PREMIER TECH) +3"
3. Jordi Lopez Caravaca (EUSKALTEL-EUSKADI) +7"
7. Simone Raccani (JCL Team Ukyo) – +15"

JCL TEAM UKYO ならびにこのレポートに関するお問い合わせ: KATAYAMA PLANNING株式会社
田村 遼 (広報) Mail: tamura@kplanning.co.jp TEL: 090-44551-4021
増田 深雪 (広報) Mail: m-masuda@k-planning.co.jp

